

# 台風11号接近に伴う農作物の管理について

令和4年9月2日

J A 佐渡営農振興部

台風11号の接近に伴い、今後の気象情報と通過前後の作物管理について  
ご注意願います。

## 1 水稲

### 【事前対策】

- ・収穫期を迎えているほ場は、可能な限り収穫を進める。
- ・収穫までまだ間があり、大雨が予想される場合は、ほ場の停滞水を迅速に排除するため、ほ場内の溝や排水路の整備・点検を実施する。

### 【事後対策】

- ・収穫前のほ場が浸・冠水した場合は、できるだけ早く排水する。穂先まで冠水したほ場は、特に排水を急ぐ。
- ・大雨や強風によって倒伏が進んだ場合は、穂発芽等による品質低下を防止するため、ほ場排水を進めながら、早めに収穫する。
- ・収穫時の籾水分が高い場合は、収穫後できるだけ早く乾燥機に張り込み、通風により生籾の変質を防止するとともに、設定温度を下げて乾燥する。

## 2 大豆

### 【事前対策】

排水路及びほ場内の排水溝の整備・点検を実施する。

### 【事後対策】

浸・冠水した場合は、湿害による品質低下や枯死を防止するため、できるだけ早く排水する。

## 3 野菜・花卉

### 【事前対策】

- ・ハウスやトンネルはマイカー線やくいなど、あおり止めを点検補強するとともに、周辺で風に飛ばされるおそれのあるものは片付ける。
- ・収穫期を迎えている作物は、可能なものから収穫する。
- ・露地育苗中（タマネギ等）の作物は、葉の損傷を防ぐため、べたがけ資材を被覆する。

### 【事後対策】

- ・強風・降雨によりキャベツ、ブロッコリー、アスパラガス、ネギ等については茎葉の損傷で病害が発生しやすくなるので、治療効果が期待できる剤を臨時散布する。
- ・草勢回復のため、葉面散布や液肥等による追肥を行う。

## 4 果樹

### 【事前対策】

- ・収穫期にある作物（りんご・なし等）は、安全を確保した上で可能な限り収穫する。
- ・長く垂れ下がった枝や若木など倒伏が予想される樹は支柱を立て、結束する。
- ・防風網や果樹棚は、事前に点検・補強する。また、棚線を固定し、揺れによる落果を防ぐ。
- ・反射マルチ設置は台風通過後としてください。既に設置している場合は重しを追加する等の強風対策を行ってください。

### 【事後対策】

- ・枝葉や果実等の被害を確認し、必要に応じて追加防除を実施する。（薬剤散布については、営農窓口までご相談下さい。）
- ・倒伏や落葉等による根が損傷や葉数が大きく減少した場合は摘果等、樹勢の回復に努める。
- ・樹体が損傷した場合は、被害程度に応じて切除等、修復を行う。